

# 演台カバーの仕様

**<生地>** ※法令で定められている、防災性能を有している生地を使用しております。  
※エンジや紺が一般的ですが、他の色もございます。

## 上質な別珍生地（木綿）

毛足が長く、光沢のある生地です。  
手触りは、スエードに似ています。



エンジ



紺

## <フレンジ>

演台カバーの下部に付いている房です。ラメなしが一般的ですが、ラメありや筋入りもあります。



ラメなし（エンジ生地でのイメージ）



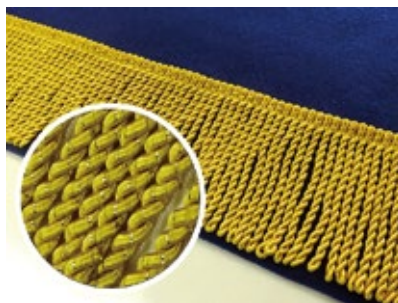
ラメあり（エンジ生地でのイメージ）



筋入り（エンジ生地でのイメージ）



ラメなし（紺生地でのイメージ）



ラメあり（紺生地でのイメージ）



筋入り（紺生地でのイメージ）

## <裏地>

演台カバーを丈夫にするため、裏地を付けることが一般的です。

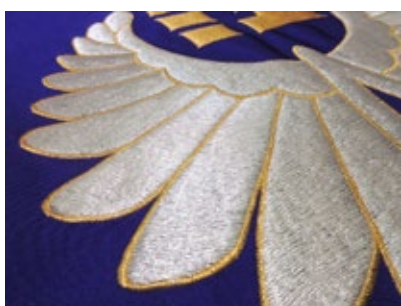
※法令で定められている、防災性能を有している生地を使用しております。

(製作の都合上、土手あり演台の装飾カバーには、裏地が付けられません。)

## <校章と文字>

熟練の職人が、刺繍により、校章や文字を施します。

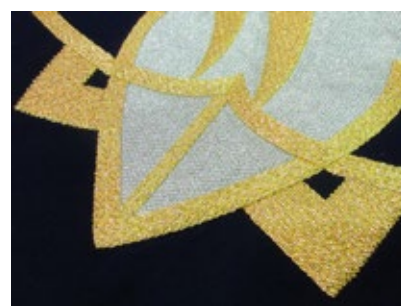
ミシン刺繍が一般的ですが、アップリケにすることもあります。豪華にしたい場合は本刺繍にします。



[ミシン刺繍]



[アップリケ]



[本刺繍]

[演台カバー トップページ](#)